

令和元年度 岩国市下水道事業決算の要領

下水道事業の経営成績と財政状態をお知らせするため、令和元年度決算の要領を公表します。

令和元年度から、農業集落排水事業及び特定地域生活排水処理事業について、地方公営企業法の財務規定等を適用し、下水道事業に統合した決算となっています。

1 業務量

下水道事業の年間有収水量は5,694,667^mで、有収水量率は67.6%でした。

区分	令和元年度	平成30年度	比較	
			増 減	対前年度比率
処 理 人 口	52,537 人	48,147 人	4,390 人	109.12%
年 間 総 処 理 水 量	10,772,791 ^m	11,120,959 ^m	△ 348,168 ^m	96.87%
内訳	汚 水 処 理 水 量	8,429,367 ^m	111,441 ^m	101.34%
	雨 水 処 理 水 量	2,343,424 ^m	△ 459,609 ^m	83.60%
年 間 有 収 水 量	5,694,667 ^m	5,317,699 ^m	376,968 ^m	107.09%

2 収益的収支（損益計算書）

(1) 損益計算書の要旨

令和元年度は、収益総額3,194,475千円に対して費用総額3,194,475千円となり、当期純利益は0千円でした。

損益計算書			
(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)			
			(単位:千円)
1. 営業収益		(4) 長期前受金戻入	1,006,630
(1) 下水道使用料	915,323	(5) 雑収益	1,252
(2) 雨水処理負担金	469,221		1,805,617
(3) その他営業収益	3,953		
	1,388,497	4. 営業外費用	
2. 営業費用		(1) 支払利息等	336,544
(1) 管きよ費	46,551	(2) 雑支出	189
(2) ポンプ場費	76,992		336,733
(3) 処理場費	425,537	経常利益	5,488
(4) 農業集落排水費	65,626	5. 特別利益	
(5) 浄化槽費	38,869	(1) 過年度損益修正益	2
(6) 流域下水道維持管理負担金	108,050	(2) その他特別利益	359
(7) 総係費	81,255		361
(8) 小規模下水道費	5,869	6. 特別損失	
(9) 減価償却費	2,003,006	(1) 過年度損益修正損	21
(10) 資産減耗費	138	(2) その他特別損失	5,828
営業損失	1,463,396		5,849
3. 営業外収益		当期純利益	0
(1) 受取利息配当金	7	前年度繰越利益剰余金	0
(2) 他会計負担金	723,403	その他未処分利益剰余金変動額	0
(3) 他会計補助金	74,325	当年度末処分利益剰余金	0

(※金額は税抜きです。)

(2) 収益・費用の内訳

損益計算書に計上された収益・費用の内訳は次のとおりです。

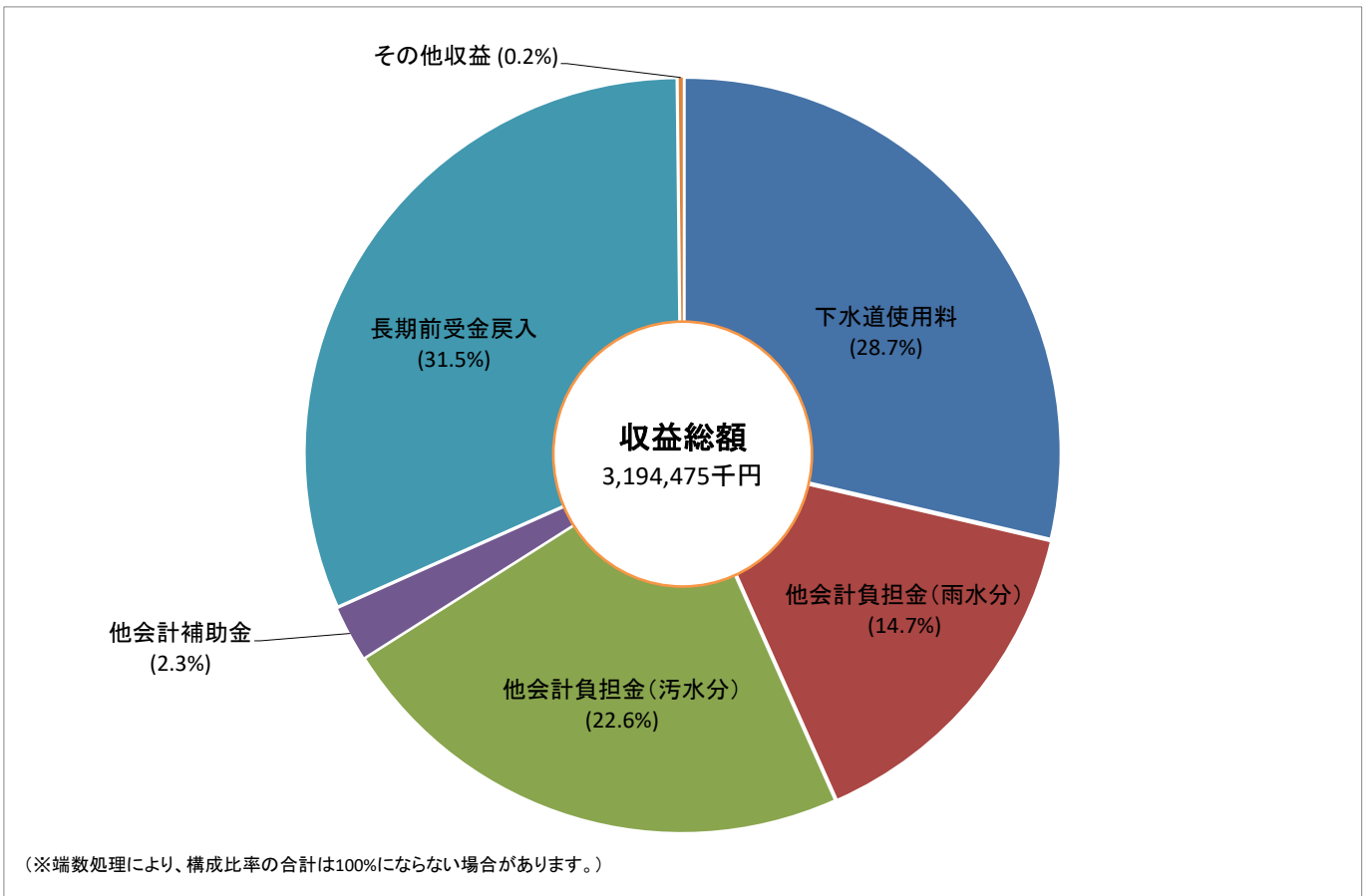
○収益の内訳と内容

(単位:千円)

収益種別	決算額	内容
下水道使用料	915,323	下水道使用料(公共・小規模、農業集落排水、特定地域生活排水処理)の合計です。
他会計負担金(雨水分)	469,221	公営企業繰出基準(総務省)による雨水処理経費に対する一般会計繰入金です。
他会計負担金(汚水分)	723,403	公営企業繰出基準(総務省)による汚水処理経費に対する一般会計繰入金です。
他会計補助金	74,325	公営企業繰出基準(総務省)によらない一般会計繰入金です。
長期前受金戻入	1,006,630	国庫補助金など、償却資産取得時に繰延経理をした財源を収益化したものです。
その他収益	5,573	
計	3,194,475	

(※金額は税抜きです。)

○収益の構成



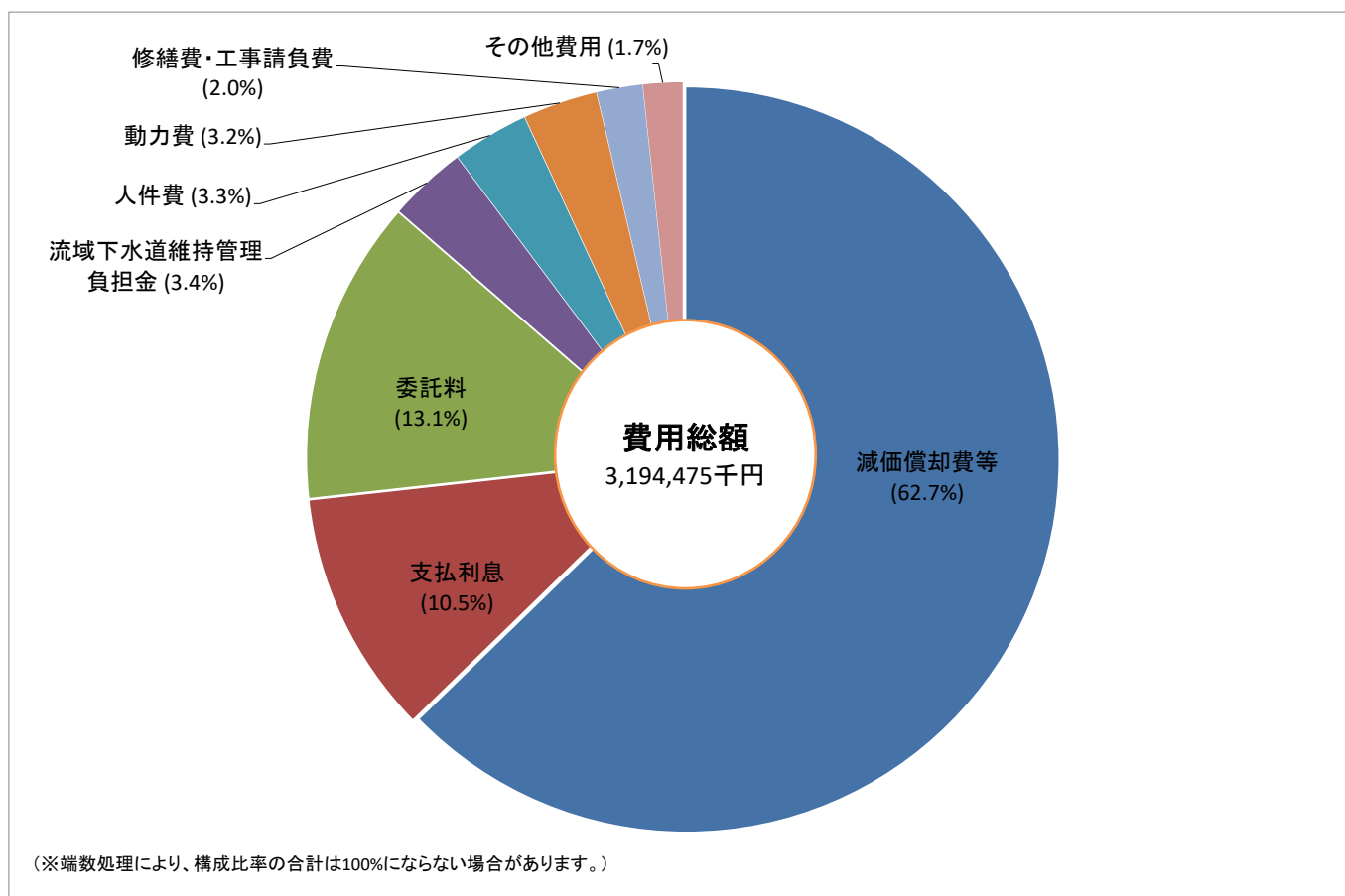
○費用の内訳と内容

(単位:千円)

費用種別	決算額	内容
減価償却費等	2,003,144	処理場、ポンプ場、管きよなど下水道施設の減価償却費と資産減耗費です。
支払利息	336,544	企業債(長期債)利子と一時借入金利子の合計です。
委託料	419,827	処理場の維持管理業務をはじめとする各種の業務委託料です。
流域下水道維持管理負担金	108,050	周南処理区(玖珂・周東)の汚水処理費用として、山口県が運営する周南流域下水道に対して支払う維持管理負担金です。
人件費	105,954	下水道業務に従事する職員の人件費です。
動力費	103,074	処理場など下水道施設の電気代や燃料代です。
修繕費・工事請負費	63,256	下水道施設の修繕や維持のために要した費用です。
その他費用	54,626	
計	3,194,475	

(※金額は税抜きです。)

○費用の構成



3 資本的収支

令和元年度の資本的収支決算額とその内容は次のとおりです。

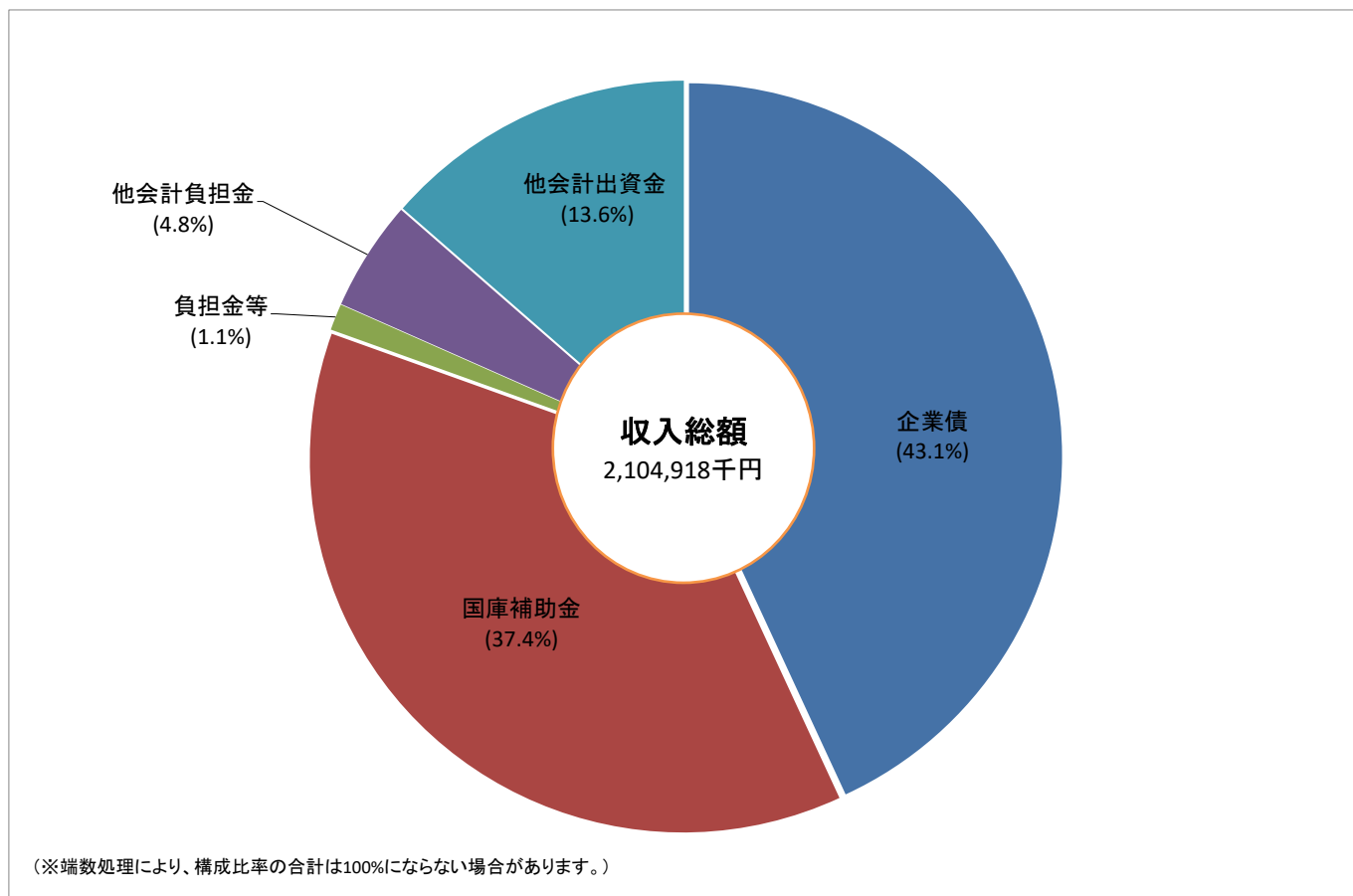
○資本的収入の内訳と内容

(単位:千円)

収入種別	決算額	内容
企業債	907,300	建設事業の財源として借り入れた長期企業債です。
国庫補助金	786,808	社会資本整備総合交付金など、下水道の建設事業に対する国庫補助金です。
負担金等	24,148	受益者負担金等です。
他会計負担金	100,739	公営企業繰出基準(総務省)による企業債償還金に対する一般会計繰入金です。
他会計出資金	285,923	下水道事業に対する一般会計出資金です。
計	2,104,918	

(※金額は税込みです。)

○資本的収入の構成



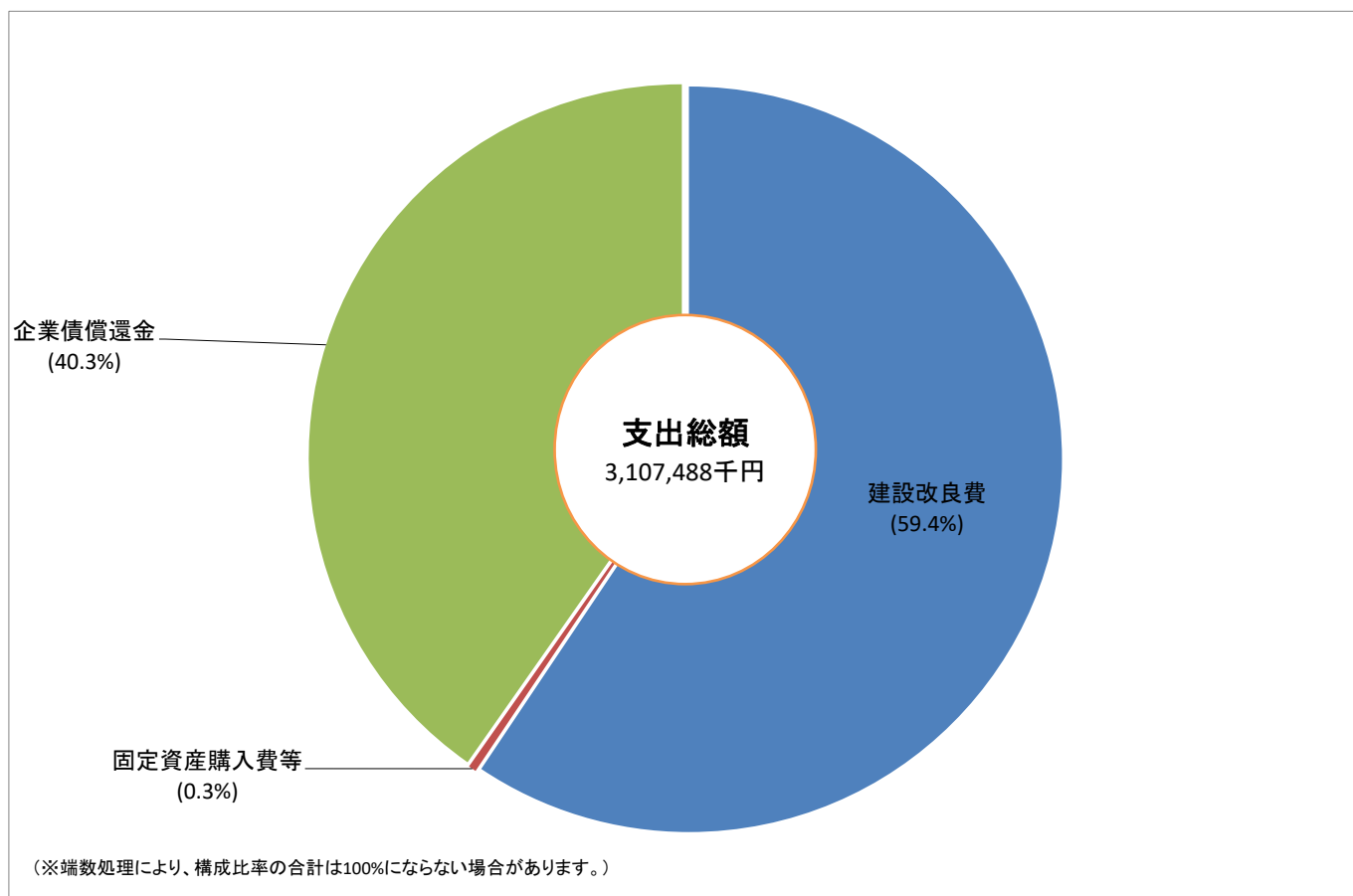
○資本的支出の内訳と内容

(単位:千円)

支出種別	決算額	内容
建設改良費(管路)	1,531,941	管路施設の新設及び改築・更新のための支出額です。
〃 (ポンプ場)	265,669	ポンプ場施設の改築・更新のための支出額です。
〃 (処理場)	6,919	処理場施設の改築・更新のための支出額です。
〃 (農業集落排水)	21,761	農業集落排水施設の新設及び改築・更新のための支出額です。
〃 (浄化槽)	9,832	浄化槽の新設のための支出額です。
〃 (流域下水道)	9,690	山口県が運営する周南流域下水道に対する建設負担金です。
固定資産購入費	10,520	下水道会計システムの更新、公用車の買い替えのための支出額です。
企業債償還金	1,251,156	建設事業の財源として借り入れた長期企業債の元金償還金です。
計	3,107,488	

(※金額は税込みです。)

○資本的支出の構成



○資本的収入の不足額について

資本的収入は企業債や国庫補助金等の外部資金のみが計上されるため、決算上は支出に対して収入不足となります。この不足額は、損益勘定留保資金等の内部資金で賄われます。

4 貸借対照表

(1) 貸借対照表の要旨

貸借対照表日(令和2年3月31日)における資産合計は55,933,873千円、負債合計は43,804,556千円、資本合計は12,129,317千円でした。

貸借対照表
(令和2年3月31日)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産	55,933,873	負債	43,804,556
固定資産	54,903,848	固定負債	17,658,611
有形固定資産	54,484,139	企業債	17,658,611
無形固定資産	419,709	流動負債	2,063,904
流動資産	1,030,025	企業債	1,265,860
現金預金	586,816	未払金	789,704
未収金	504,941	賞与等引当金	8,321
貸倒引当金	△ 61,732	その他流動負債	19
		繰延収益	24,082,041
		長期前受金	23,092,399
		建設仮勘定長期前受金	989,642
		資本	12,129,317
		資本金	7,628,540
		自己資本金	7,628,540
		剰余金	4,500,777
		資本剰余金	4,500,777
		利益剰余金	0
資産合計	55,933,873	負債・資本合計	55,933,873

(2) 資金不足額の算定

令和元年度決算において、地方公共団体の財政の健全化に関する法律(「以下「健全化法」)による資金不足額はありません。

○健全化法による資金不足額の算定

流動資産の額・・・① 1,030,025 千円

流動負債の額(1年以内に償還する企業債を除く)・・・② 798,044 千円

①－② 231,981 千円 ……③

※③≥0の場合、資金不足額はありません。

5 経営指標

(1) 公共下水道事業

指標	令和元年度実績	説明
人口普及率 (公共下水道)	35.9 %	行政区域内人口に対する下水道整備人口の割合 (小規模下水道を含めない場合の普及率)
1人当たり企業債残高	100 千円	下水道整備人口1人当たりの企業債残高 (公費負担見込分を除く企業債残高/下水道整備人口)
経費回収率	97.6 %	使用料対象経費に対する使用料収益の割合 (使用料収益/使用料対象経費)
汚水処理原価	166.4 円/m ³	有収水量1m ³ 当たりの汚水処理費 (使用料対象経費/有収水量)
維持管理原価	111.4 円/m ³	有収水量1m ³ 当たりの維持管理費 (使用料対象経費のうち維持管理費のみ/有収水量)
基準外繰入金 (収益的収支分)	21,166 千円	収益的支出に充てられる基準外繰入金

(2) 農業集落排水事業

指標	令和元年度実績	説明
経費回収率	72.6 %	使用料対象経費に対する使用料収益の割合 (使用料収益/使用料対象経費)
汚水処理原価	196.4 円/m ³	有収水量1m ³ 当たりの汚水処理費 (使用料対象経費/有収水量)
維持管理原価	196.4 円/m ³	有収水量1m ³ 当たりの維持管理費 (使用料対象経費のうち維持管理費のみ/有収水量)
基準外繰入金 (収益的収支分)	25,370 千円	収益的支出に充てられる基準外繰入金

(3) 特定地域生活排水処理事業

指標	令和元年度実績	説明
経費回収率	32.2 %	使用料対象経費に対する使用料収益の割合 (使用料収益/使用料対象経費)
汚水処理原価	444.5 円/m ³	有収水量1m ³ 当たりの汚水処理費 (使用料対象経費/有収水量)
維持管理原価	444.5 円/m ³	有収水量1m ³ 当たりの維持管理費 (使用料対象経費のうち維持管理費のみ/有収水量)
基準外繰入金 (収益的収支分)	27,789 千円	収益的支出に充てられる基準外繰入金

※使用料対象経費とは、維持管理費と資本費(減価償却費、資産減耗費、企業債利子)の合計額のうち、一般会計からの繰入金などにより公費負担すべきものとされている部分を除いた金額で、使用料で回収すべき経費です。